

高気密ステンレス排水管 施工要領書



高気密ステンレス排水管は薄型軽量で長寿命を特徴とした排水管です。
非常に軽量（φ200 スパイラル直管…約 3kg/m 加工管…約 6kg/m）な為、施工性に優れます。
ただし他管種と仕様が異なる部分があり、慣れないと時間を要してしまう場合もあります。
取扱いのコツを掴んで頂くと、よりスムーズな施工が可能になります。

そこで本書では主に塩ビ管と高気密ステンレス排水管取り付け時の異なる部分を中心に、コツ
および注意事項を中心に説明しております。
施工前に、ご一読いただきスムーズで安全なお取り付けの一助になれば幸いです。

※ご不明な点等ございましたら、トーカイスパイラルまでお気軽にご連絡下さい。

（株）トーカイスパイラル TEL 0587-53-1545

1. 荷受け

仮置き場は平らな所へブルーシート等を敷いて下さい（もしくは盤木等を使用頂くと碎石、砂利等の凹凸との接触が防げます）※管厚が薄い為、凹みにご注意ください

2. 排水管の接続

2-1 準備



材料

排水管 ※挿し込み分 80mm 側が上流側の管です

TS カップリング（つなぎバンド）

シール材（コーキング）

工具

プライヤー

ラチェット/スパナ

コーキングガン

2-2 TS カップリングの曲げ作業



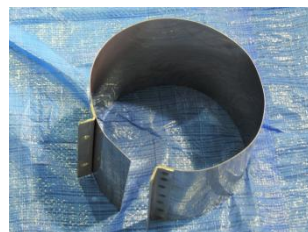
作業内容

- ・事前に TS カップリングを丸めます
- ・写真のように膝等に押し当てながら丸めます

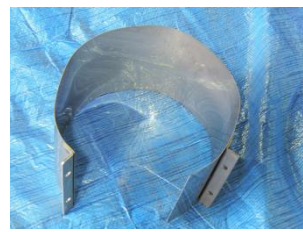
ワンポイント

- ・下記写真の左図程度まで丸めて下さい。
後の排水管への巻付作業が楽になります

○この程度丸める



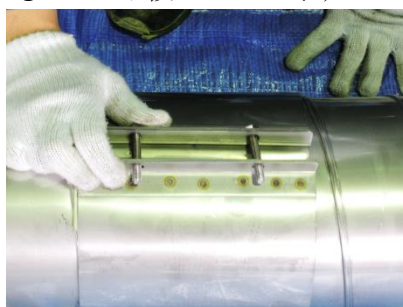
×丸めが足りない



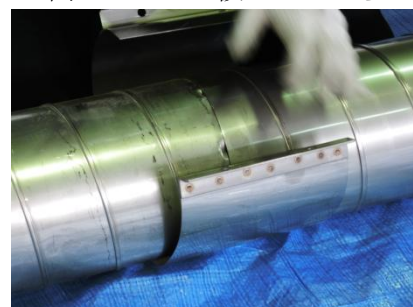
丸めると運び辛くなるので、運搬後、
取付場所で丸める
のがおすすめです



○ ボルト仮止めがたやすい



×開いてしまい仮止めしづらい



2-3 排水管どうしの接続（挿し込み）



作業内容

- ・通常は上流側からの作業となる為、上流側を取付金具で固定後、挿し込みを行います
(下流側から作業の場合は下流側を固定下さい)
- ・高気密ステンレス排水管は仕様上、真円でない為、左の写真のように真っ直ぐ挿しこもうとしても、挿し込みしづらい場合があります。その場合は下記の方法を確認、試みて下さい

ワンポイント

①片方の管が固定されていない場合は非常に挿し込みづらい場合がある為、金具等で片方を固定してください

②斜めにして挿込みのきっかけを作る



③差込延長（オス側）の入らない部分を叩きながら挿し込む



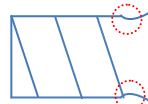
- ・位置や力加減を変えながら調整して下さい

④上記の方法でも挿し込め無い場合、メス側（差込延長の無い側）の切り口から 3-5mm 程度をプライヤーで軽く外側に開いて下さい



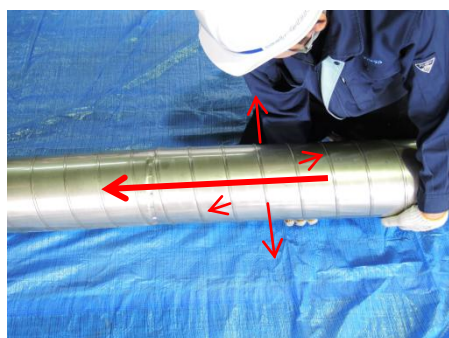
※数ミリですがラップの形状にする

注意事項



開け過ぎて内側に凹みが入ると、そこで入らなくなるので、ご注意ください

⑤奥までの挿し込み方法



固い場合は、上下左右に排水管を動かしながら押し込むと徐々に奥まで挿入されていきます



2-4 シーリング材の塗布



作業内容

- ・挿し込みした排水管接続部全周にシーリング材を塗布します

注意事項

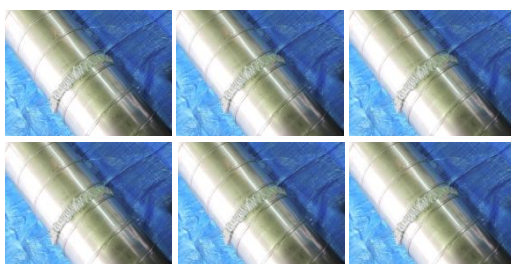
- ・全周に隙間なく塗布します

塗布量の目安



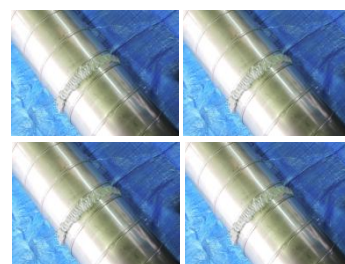
330g のシーリング材 1 本で

φ 150 の場合



φ 150 なら 6 ヶ所で
使い切る程度

φ 200 の場合

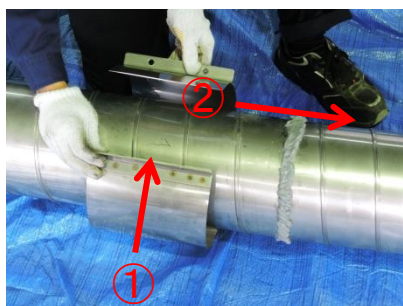


φ 200 なら 4 ヶ所で
使い切る程度

2-5 TS カップリングの取付（排水管接続部への巻き付け）

- ① 2-2 で準備した TS カップリングをシーリング材塗布部に巻き付けします

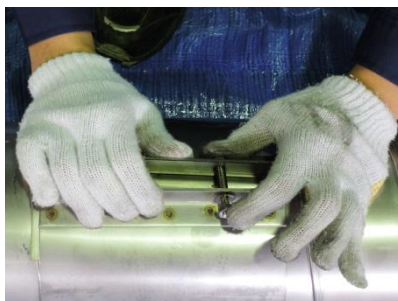
シーリング材塗布部へ直接巻こうとするとシーリング材が TS カップリングに付着する為、少し離れた位置で TS カップリングを被せ（写真左）、シーリング材が付着しないようスライドさせる（写真右）とシーリング材の付着が防げます（※付着した場合、仕上げが悪くなるので拭き取りが必要となります）



- ② ボルト・ナットを取り付けます

ワンポイント

- ・プライヤーを利用する
- ・先ず仮止めを行う



ワンポイント

2-2でのTSカップリングの丸めが足りないと巻き付けが難しくなり作業効率が悪くなります



③ ボルト・ナットを締めつけます

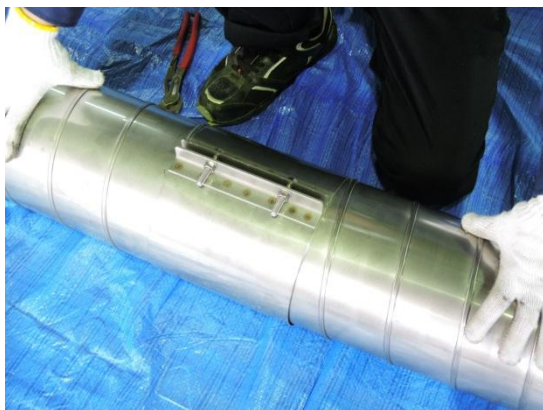
③-1 プライヤーで強く締付けナットを回します



③-2 左右をプライヤーで強く締付けナットを更に回します



③-3 プライヤーで中央/左右を強く締付け、これ以上プライヤーで締付け出来ない所までナットが固定できていれば完成です



シーリング材がはみ出した場合は早めに拭きとってください

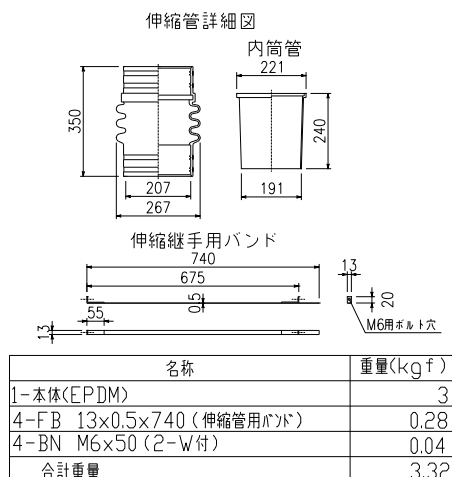


ワンポイント&注意事項

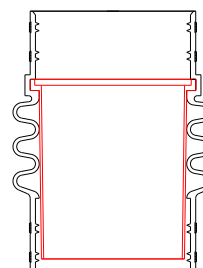
- ・ゆるみ止めナット使用時等、ラチェット、スパナで締付けを行う際は潤滑剤（CRC 等）の使用をおすすめします（ステンレスのボルト/ナットはネジ噛みをおこしやすい為）



3. 伸縮管の取付（φ200 高気密ステンレス排水管 専用伸縮管使用時）

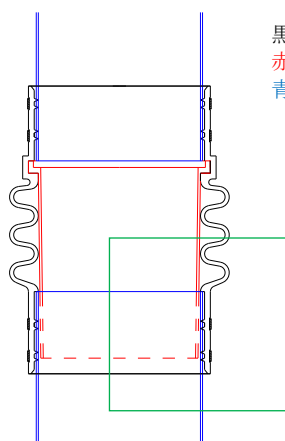


内筒管の透かし図
(内筒管を赤線にて表記)
※この状態での納品になります

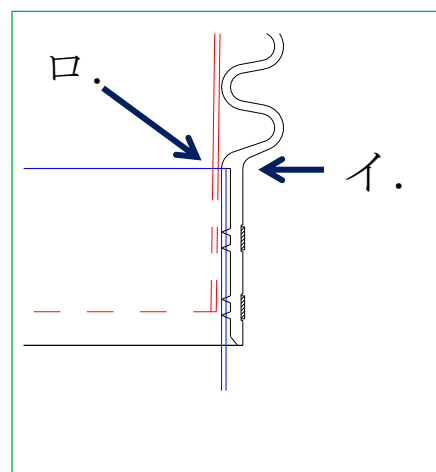
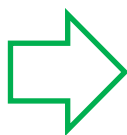


注意事項 特にイ. □. の点にご注意ください

排水管を挿し込んだ状態



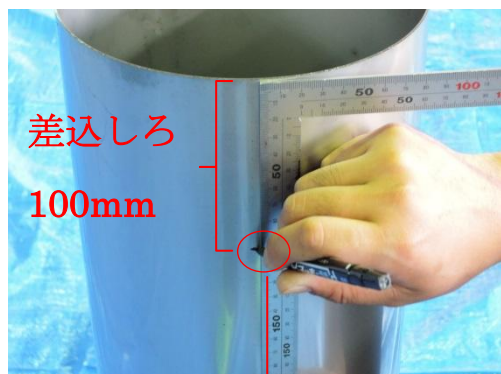
黒線…伸縮管本体
赤線…内筒管
青線…排水管



イ. 排水管は差込しろ 100mm を確実に差し込む

□. 内筒管の流末部のスカート部分は排水管の中に入れる

3-1 差込しろの記入



伸縮管の差込分、100mm の位置がわかるように両側の排水管に目印を記入します



差込しろ 100mm

差込しろ 100mm

排水管差込み後、確実に差込まれているか確認



3-2 向きの確認

注意事項
T.S の文字は
上下逆向きに
なります



矢印がありますので向きを確認下さい

上流側



下流側

3-3 差込み作業 / バンド取付

①先に記載のイ. ロ. の点をご注意頂き差込ください。

イ. 排水管は差込しろ 100mm を確実に差し込む

ロ. 内筒管の流末部のスカート部分は排水管の中に入れる

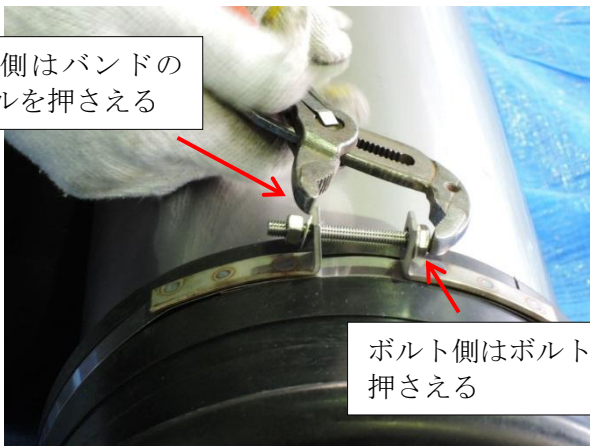
②バンドの巻付け作業

排水管を差込み後、付属の SUS バンドで上下とも 2 バンド巻付けます

その際、仮止め後は下記写真のようにプライヤーを利用すると巻付けやすくなります

手締めで可能なところまで締付けを行い、最後にスパナ等で締付け下さい

ナット側はバンドの
アングルを押さえる



ボルト側はボルトを
押さえる



ワンポイント

先に下流側の排水管への伸縮管取付が作業が容易になります。

排水管を差込む際にゴム製の為、すべりが悪く差込みし辛い場合があります。

①内筒管のスカート部分を確認し伸縮管本体とスカート部分
の間に排水管を差込みます



下流側から見た写真



上流側からスカート部分を確認



伸縮管を左右に振ったりしながら少し
ずつ差込みます

②差込後の確認



上流側からスカート部分と伸縮管
本体の間に排水管が正しく差込ま
れているか確認



差込しろの奥まで排水管が差込まれ
ているか確認（写真では指で押さえ
確認）

③上流側排水管への差込み

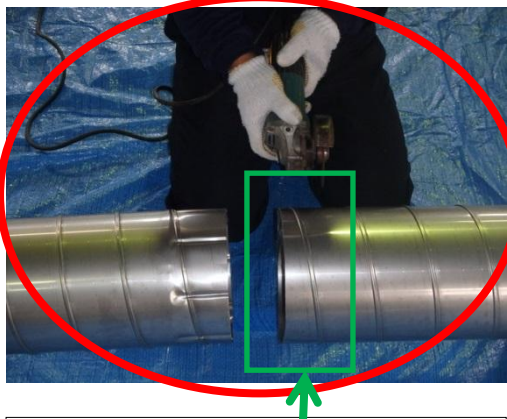


取付した下流側の管を持ち上げる
形で上流側の管へ差し込みます

4. 現地での排水管切断について

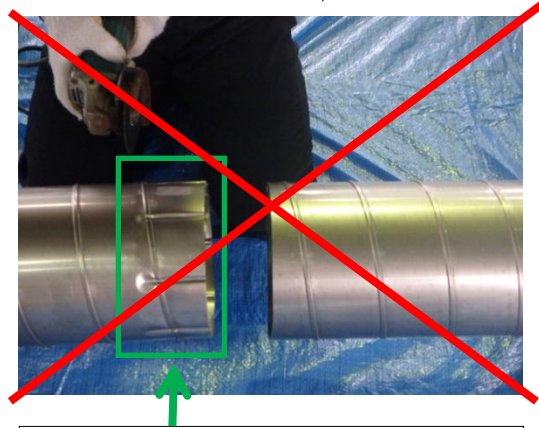
- ・高気密ステンレス排水管を長さ調節等（短くすることのみ可）で切断を行う際は下流側排水管の上流側（差込の+80 では無い方）を切断下さい。
誤って差込の+80 側を切断すると、接続が出来なくなります。

上流側 → 下流側



差込の+80 で無い側のみ切断可能です。

上流側 → 下流側



差込の+80 側は切断しない！
接続できなくなります。

5. その他

- ・ステンレスボルト/ナットはネジ噛みをおこしやすいので無理な締付けは行わないようにして下さい